

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-16 品川区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は食堂のリニューアル工事のため繰り延べていた 9 番の品川区です。

このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。

メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

【品川区役所本庁舎・第二庁舎】 品川区広町 2-1-36

最寄駅 東急大井町線 下神明駅

1932 年（昭和 7 年）大井町、大崎町、品川町が合併して品川区になった時に荏原町は単独で荏原区となりました。1947 年（昭和 22 年）品川区と荏原区が合併、現在の品川区が誕生しました。この年に誕生した区の中で旧区名がそのまま新区名に採用されたのは品川区だけとのこと。

東部は東京湾に面する埋め立て地です。江戸時代は五街道で最も交通量が多い東海道の江戸から数えて最初の宿場「品川宿」として発展しました。

2003 年（平成 15 年）JR 東海の東海道新幹線品川駅が開業、2015 年

（平成 27 年）には上野駅が終着だった宇都宮線・高崎線・常磐線の列車と東海道本線の列車が相互乗り入れを開始、品川駅及び駅周辺は大きな変化を遂げています。東急大井町線大井町駅の隣の下神明駅から「しながわ中央公園」脇を歩いて行くと正面に区役所本庁舎があります。

寅次郎、品川区役所（写真右）は初めての訪問です。

[品川区役所食堂]

食堂は本庁舎と繋がった第二庁舎の2階にありますが、正面玄関は3階のため1階下ります。食堂のリニューアル工事が終わり、5月21日から営業を再開、ランチ営業時間は11時～14時。



写真左は唐揚げ定食 500 円。期待の品川丼がなく残念でした。他のメニューは生姜焼き定食 580 円、アジフライ定食 650 円、ソースかつ丼 480 円、うどん・そば 300 円～430 円、ラーメン 420～650 円、カレー 360～480 円、麺類とミニ丼セット 550～650 円など。

品川区の木は「シイノキ、カエデ」、花は「サツキ」、鳥は「ユリカモメ」です。

「しながわ観光協会」の「しながわ観光マップ」によると、「まち歩き おすすめコース」に「旧東海道品川宿まち歩き(京浜急行線北品川駅～京浜急行線青物横丁駅)」、「東海七福神めぐり(京浜急行線新馬場駅～京浜急行線大森海岸駅)」、「荏原七福神めぐり(東急大井町線大井町駅～東急目黒線西小山駅)」、「目黒川沿いの歴史をたどる(東京モノレール天王洲アイル駅～山手線大崎駅)」、「パワースポットめぐり(山手線五反田駅～山手線目黒駅)」、「企業ミュージアムめぐり(山手線大崎駅～山手線品川駅)」、「城南五山めぐり(山手線目黒駅～京浜急行線新馬場駅)」の7コースが紹介されています。目黒駅のある場所は品川区です。

「寅さん歩」で紹介した品川区は次の通りで、番号は「寅さん歩」の目次番号です。

東京十社の初詣: 04、江戸六地藏めぐり:09、東京の富士塚めぐり: 28
健康ご利益めぐり: 64、江戸・東京の祭:80、95、96、東京の黄葉・紅葉:108
お江戸の閻魔大王:128、江戸・東京の百名山:131、132、お江戸の時の鐘:175
東京の学食めぐり:208、216

[バーチャルウォーク 途中経過]



2018年(平成30年)10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、広島県を経て岡山県に入っています。2019年(令和元年)5月24日現在、スタートから913Km地点を通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲で紹介します。

[寅次郎がウォーキングで出会った人-15]

～ 「歩けなくなったら 頭を使え！」とウォーキングのあり方を考える人 ～

「ウォーキング愛好者」の個人的規模から始まったウォーキング組織は手軽に取り組める健康づくりとして、多くの人に参加で拡大してきました。

1997年（平成9年）会員制として立ち上げたFWAも同じ道をたどっています。会員制となり運営も個人的経営から変えて行く必要がありました。

好きな歩くことに専念するスタッフが多い中、協会の基盤を支える事務スタッフは少ないのです。FWAの新たな基盤の構築に貢献されたのが八柳修之さんです。

ウォーキングを始めた動機はFWA前身の幹事をしていた谷村彪さん（FWA第三代会長）が学生時代からの友人で勧められ入会されたそうです。

八柳さんは**事務局次長・副会長として広報・会計を担当**されました。

2002年（平成14年）6月会報名を「湘南ウオーカー」に改称、A4版として毎月発行、更にホームページの開設もチーフとして尽力されました。

ホームページは2019年（平成31年）3月にアクセス数50万回を超えた日本一だと誇るホームページです。

八柳さん、ホームページ「ひろばのアーカイブス」では和澤潔さん（官公庁の食糧めぐり-6をご参照ください）と共に「例会便り」（現在の例会報告）を書いています。「ひろば」では「犬と歩けば」の連載の他、藤沢の史跡・景観を取材し、連載コーナー「ふじさわの景観」が設けられました。

早いのが取り柄（セッカチでテキトー）の寅次郎には、引用する資料をキチッと確かめる八柳さんの姿勢には頭が下がります。藤澤宿で商売をしていた寅次郎のご先祖様についても調べていただきました。

早い時期からウォーキングはいつでも一人で歩けるYR（イヤラウンド）が重要とホームページに「YR・四季の道」を開設。コースの紹介の他「一人歩きコーナー」、「寄り道コーナー」を掲載。写真下はYRコースの案内パンフでこの4コースの他に藤澤宿7kmコースも新設しています。



更に「歩く楽しみ」として新たな一人歩きの「バーチャルウォーク」を提案、海外版「地球一周4万キロ」、国内版「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場までオリンピック聖火コース（仮想）1685kmを2020年7月までに歩こう」の記録帖を作成してホームページに掲載しました。

寅次郎、足の痛みで例会に参加出来なくなり、リハビリ中にこのバーチャルウォークを知り、2018年(平成30年)10月1日聖火を持って沖縄をスタートしたのは「寅さん歩」で報告の通りです。

八柳さんと取り組んだ事業としては2007年(平成19年)藤沢市に助成金を申請、地域と密着したウォーキング活動を展開したことが特に印象に残っています。藤沢市長宛の「公益的市民活動補助金交付申請書」(全11ページ)は八柳さんが作成、当日の公開プレゼンテーションは会長の寅次郎が担当しました。審査委員長の「ウォーキングは趣味の世界で、助成金対象にはふさわしくない」との意見に「健康効果で医療費がこんなに下がる」と食いさがった思い出があります。交付された助成金20万円は「ウォークメイト」(当初は初心者向け例会)発足の費用となりました。翌年の藤沢市長宛の事業報告書(全6ページ)も八柳さんの作成です。その事務能力の高さには驚く寅次郎でした。

写真右は2回目の助成金で更に発展した「ウォークメイト わがまち ふじさわの景観 130景を歩こう」と「まだある70景」のスタンプ帖で作成は八柳さんです。

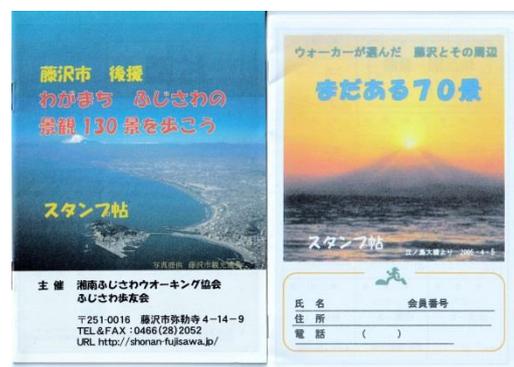
2008年(平成18年)～2011年(平成19年)は会計監事を担当されました。

八柳さんは2019年(平成31年)1月で81歳を迎えました。FWA例会が道一杯に大勢で

歩く現状や、年齢と共に長い距離が歩けなくなった会員や足腰などを痛みリハビリのウォーキングを求める会員の声を拾いあげています。ご自分の体験も踏まえた現在のウォーキングの課題や、FWAの今後の対応の問題意識は旺盛で、「最後のご奉公だ」と具体的な提案を多くされています。

FWA440名の会員の内、例会に参加する会員は約100～150名、半年間で例会参加が少ない会員114名からのアンケート(回答は59名)を取ると、半年間で例会参加0回が33名もいたそうです。FWAでは5月に八柳さん作成の「東海道五十三次」記録帖を会員に配布し、会員になったが、仕事や家族の事情・足が衰えたり健康を害して例会に参加出来ずにいる方をバックアップするとして、マイペー
スによる散歩などの距離を累積・記録する「バーチャルウォーク」で、ウォーキングを継続されることをお勧めしています。

ウォーキングは「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」です。



寅次郎の体験からも「バーチャルウォーク」は足が衰えた方のみならず、I V Vを（歩行記録認定証）もらって集めない方の「継続できる歩く楽しみ方」のひとつとして、すべての人に利用可だと感じています。特に例会の距離を歩くのが難しくなった方には自分の周りでの短い距離をマイペースで歩く「バーチャルウォーク」として活用できます。

八柳さん、2002年（平成14年）2月会社生活を卒業して、住まいを横浜市からF W A例会の集合に使用する藤沢市の奥田公園近くに移し、江尻忠正さん（F W A第二代会長で官庁の食堂めぐり-3参照）から言われた「歩けなくなったら 頭を使え！」

（スタッフとして歩く活動が出来なくなっても、他のことで協会に貢献できる）を「なるほど」と思い、実践しているそうです。

足が衰えてきた寅次郎、さらに頭も衰えないように「寅さん歩」の充実に励み、F W Aホームページのアクセス数のアップで協会に貢献しようと思っています。

次回は **官公庁の食堂めぐり-17 世田谷区役所**です。

平野 寅次郎 拝